

宇都宮市長 佐藤栄一 殿

2020年2月28日
市民連合 会長 今井恭男



新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

2019年11月に発生が確認された新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）が中国武漢におけるアウトブレイクを発端に世界各国に感染が拡大しており、2020年2月28日現在、感染者数81,403名、死亡者数2,797名にのぼるなど世界的な流行に歯止めがかからない状況にある。

我が国においてもクルーズ船を除く国内感染者数が2月28日現在で感染者数210名、死亡者数も4名となっており、本県を含む18都道府県で感染者の発生が確認されるなど、市中感染の防止に向け予断を許さない状況にある。

一方、急な政府方針による公立学校の休校要請や、大規模なイベントの中止・延期、懇親会等の自粛等により、市民生活への影響や深刻な経済影響等が発生する懸念があるため、新型コロナウイルスの感染抑制・防止策と合わせ、市民生活への対策を講じることが必要であることから市民連合会派として緊急要望を提出するものである。

記

1. 県・市内医療機関と連携のもとウイルス検査体制の強化を図り、疑わしき症状のある患者が即時に検査を受けられる体制の構築や、国が示す検査対象基準や受診方法についての正確な情報提供を行うなど感染源の早期抑制に徹底して取り組むこと。
2. 福祉的な観点から開所を行う子どもの家や幼児・保育施設、高齢者・障がい者施設等の感染予防対策に必要となる人件費や衛生費等の支援や、流通不足により入手しにくいマスク・消毒液等の衛生用品等の確保に対する物的支援策を検討し対応を図ること。
3. 市内経済活動の自粛拡大により飲食・宿泊・観光業等のサービス産業を中心に、甚大な経済影響が発生していることから、サービス産業、中小零細事業者等への運営資金確保や相談等の支援をきめ細かく行い市内経済への影響の抑制を図ること。
4. 感染・疾患の全容解明には新たに得られる知見が必要であることから適時予防・流行の最新情報を市民に的確に周知すること
5. 学校の休校に伴う弊害や混乱の防止に努めるとともに、受験・卒業・入学等を控える児童・生徒・保護者への精神的ケアや家庭学習支援等に必要な対策を講じること。

以上